

2021年度 自己評価結果公表シート

鴨島中央認定こども園

1. 本園の教育・保育目標

<教育・保育目標>

- ・明るく元気で基本的な生活習慣を身につけたこども
- ・よく見る目、よく聞く耳、よく働く手足を使って、自分で考え、豊かな感性をもって自己表現できるこども
- ・友達と楽しく遊ぶとともに、思いやりのあるこども

<教育・保育方針>

- ・一人一人を大切にする教育・保育
- ・遊びを大切にする教育・保育
- ・目に見えないものを大切にする教育・保育
- ・地域のすべての子どものために

2. 2021年度の評価項目

1. 教育・保育について
2. 安全管理および環境整備
3. 保護者との連携
4. 地域、社会との連携
5. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
1. 教育・保育について	<ul style="list-style-type: none">・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「キリスト教保育指針」に基づき、教職員一同が共通理解をして教育・保育に取り組んでいる。・子どもの尊厳を保持し、自己肯定感が育つような言葉がけを大切にし、一人ひとりの心が満たされ、心身ともに健やかに子どもの育ちを支えていくようにした。・月一回教育・保育の振り返り、学期末毎の反省会を持ち、園児の育ちを教職員間で情報共有する中で、問題提起などをして取り組み、翌月の指導計画の立案にも活かすようにした。・コロナ禍でも園児にとって何が大切かを教職員で考え、教職員全体で子どもの育ちを支えるよう教育・保育に携わった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・園外研修会に積極的に参加して自己研鑽に務め、他の職員には、出張報告の機会をもつようにした。園内研修も定期的に行い職員が、課題に対して建設的意見を出せる雰囲気を中心けるようにして取り組んだ。
2. 安全管理 および環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の避難訓練を計画し、それに基づいて地震・火災を想定し月に一度実施している。年二回消防署に通報訓練、年一回消防署の方が来園し避難・消火訓練の指導を受けている。 ・今年度は、警察署の方の指導で「交通安全教室」を開き、園児に横断歩道の安全確認・通行の仕方等を実際の信号機を使って教えてもらった。 ・業者による消防設備保守点検・エレベーター・害虫駆除の点検を行っている。 ・園庭の遊具・各クラスの用具などは、毎日点検しており、年2回施設内外の安全点検を行っている。 ・不審者対応として防犯カメラを設置しており、モニター画面を職員室で管理している。玄関出入り口の自動ドア・通用出入口も時間で開閉の管理をしている。
3. 保護者との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と担任は、送迎時の短い時間でも子どもの様子を伝えるようにし、保護者の思いを受け止めるように心がけた。怪我の報告書には、保護者に伝えたときの保護者対応などをメモするようにしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため行事の見直しや中止することもあったが、行事の取り組みについては、保護者会の役員の方々の意見や要望を聞きながら行った。 ・コロナ感染症対策についても文書やメールでこまめに発信し、健康や安全についての啓発を行っている。 ・掲示板は、玄関ホールに設置して情報伝達している。学年ごとの連絡事項などは、ホワイトボードを活用し掲示している。
4. 地域・社会と の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、例年行っている保育園・認定こども園・小学校・中学校・高校・老人会などの交流が出来なかった。園外の方々とのふれあいができなかったことは残念であった。 ・就学に向けて、入学予定の小学校と連絡を取り合い、円滑な移行ができるよう努めた。小学校の先生と情報交換をして連携を図るようにした。 ・子育て支援事業（なかよしくらぶ）では、毎週、月・水・金に

	<p>行ない、園庭開放や行事を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止することもあり、来園者は少なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり事業（一般）では、コロナ禍であったが前年度を上回る利用があった。一時預かりを利用している子どもが、次年度の入園につながっているケースもある。
5. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時の検温、手指消毒、マスク着用を園児も保護者も徹底してくださった。 ・マスク着用について、3歳児以上は、保育者が熱中症等の体調管理をしながら基本着用とし、外遊びや運動遊び中は外すようにした。 ・毎日、各部屋の消毒作業後に新型コロナウイルス感染予防チェック表をつけている。各部屋のおもちゃ等も除菌庫を活用し消毒するようにした。 ・行事では、蜜を避け時間差で入館者の人数制限をして、人の動きに配慮し間隔を取ることを徹底した。 ・食事時間は、全室にパーテーションを設置し、子どもたちになぜそうするのかを話し、静かに食べるように促している。

4. 保護者アンケート調査および総合的な評価結果

<p>・2021年度も新型コロナウイルス感染症対応に翻弄された年度であった。初めて経験する事柄にも、教職員で力を合わせて乗り切ることができた。この経験からマニュアル・BCP等を作成し、その後の発生事案にも冷静に対応することができたことは大きな成果だと思う。</p> <p>・今年度は、「からだ力アップ」として3・4・5歳児は年齢別計画をたて体力向上につながる遊びを展開するように取り組んだ。毎朝、ラジオ体操を全館放送で流し、子ども達も職員も行なうようにした。ホールに巧技台を設置し、バランス感覚や集中力を養うようにした。園庭では、各年齢で戸外遊びを工夫して活動した。それぞれの遊びにより、子ども達の体力づくりに活かした。</p> <p>・異年齢児交流活動では、年齢を縦割りで、5グループをつくり活動を予定していたが、コロナ禍により感染拡大予防として年齢別の交流を控えるようにしたので出来なかったのは残念であった。</p> <p>・年度末に実施した保護者アンケート調査での結果から、「子どもが喜んで園に通っている？」(98%)「この園に入園して良かったと感じていますか？」(95%)の間にどちらも95%を超えるご家庭の評価を頂き、教職員の資質向上への意欲へとつながっている。保護者アンケートなどから今年度の課題を検討し全職員が共通理解をもって次年度に取り組んでいきたい。</p>
--

・給食メニューをホームページに掲載していたところ、保健所の方より子育てしている保護者の方にとって、良い見本となるので今後も続けてほしいという意見をいただいた。地域社会へもホームページ等で、鴨島中央認定こども園の情報発信がきるように努めたい。

5. 今後取り組むべき課題

保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も引き続き保護者と連携して、新型コロナウイルス予防対策を徹底していく。園内でクラスター発生を防ぐように家庭でも気をつけていただく。 ・例年、保護者研修を実施して「子育てについて」の研修を行っているがコロナ禍で、数年出来ていないので今後は、ネット配信などを活用して行いたい。
安全管理マニュアルに基づき、防犯・防犯体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自が園内の避難経路や役割分担を再確認して、安全に対する意識の向上に努める。 ・地震、火災、風水害等の状況を予想し、緊急時の対応を決めておくことで事業の継続や早期の復旧につながるようBCP（事業継続計画）の見直しをする。

6. 苦情解決第三者委員の評価

・保護者アンケートで「この園に入園して良かったと感じていますか」で95.1%との高い評価は、保護者の方が、子どもを安心して預けることができていると感じる。

・保護者の意見は、園を良くしようとして下さる意見と捉えて対応し、その後の対応についてもきちんと保護者に知らせることが大切。

・コロナ禍での制約の中、子どもたちが育っていく過程での経験をどういう風に工夫して支えていくかが難しい課題と思う。

・アンケートの問を「はい」「いいえ」でなく、選択肢を増やすと保護者も答えやすいと思う。

7. 財務状況

・出納経理は、会計コンサルタントによる指導により適正に運営されている。

・保護者会会計は、保護者会監事に監査を受けて適正に処理している。